

公益財団法人 日本卓球協会 2020 年度 第 4 回理事会 報告

【日時】

2021 年 3 月 6 日(土) 13:00 ～17:06

【場所】

東京・Japan Sport Olympic Square 8F・(公財)日本卓球協会事務局 (web 会議)

【出席者】

◎決議事項

第 1 号議案 専務理事提案 (星野専務理事)

①スポーツガバナンスコードについて 承認

1. JTТА スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>遵守状況に関する自己説明及び公表内容(案)について
2. ガバナンスコード「原則 2 体制整備」に関する骨子案について

②2021・2022 年度専門委員会委員の推薦について 承認

任期は 2021 年 4 月 1 日からの 2 年間。

③2021 年度大会派遣役員について 承認

派遣期間で都合が付かない場合はこれまで同様に各々で調整する。

④日本オリンピック委員会への役員候補者推薦について 承認

星野専務理事を推薦する。

⑤2021 年度事業計画について 承認

定款に基づき作成した。内閣府公益認定委員会に提出する。

第 2 号議案 財務部提案 (安西常務理事)

①2020 年度第四次補正予算について 承認

四次補正予算は、経常収益合計 862,624 千円、経常費用合計 796,064 千円で 66,560 千円の黒字となり、三次補正予算の当期経常増減額 66,866 千円から 306 千円の減額となった。
今後の決算状況により、加盟団体支援事業で年度当初に取崩した 90 周年・100 周年事業準備基金へ戻入を検討する。

②2021 年度予算案について 承認

2021 年度当初予算(案)は、当期経常増減額▲91,334 千円の赤字予算となっており、2020 年度当初予算の当期経常増減額▲81,709 千円より約 10,000 千円増加となっている。
企業協賛額、未確定であるオリンピック以降の海外遠征や国際大会は補正を行う。

第 3 号議案 事業部提案 (金崎常務理事)

①2021 年度全国大会開催地・日程(案)について 承認

②2021 年度大会要項(案)について 承認

通常開催版の大会要項で作成となるが、正式なものは大会開催前に発送する。

③2021 年度全国ホープス卓球大会(案)について 承認

三密を避け、換気を行い、体育館からの人数制限等を踏まえ大会要項を変更する。

第 4 号議案 総務部提案 (加藤常務理事)

①規程の改訂について 承認

事務局規程の改訂について、監事監査における監事指摘事項に対応し、実態に合わせた期間とする。

事務局規程：第 4 章 出張 第 3 節 海外出張

第 59 条 旅費の精算(一部抜粋)

出張者が海外から帰国したときは、すみやかに「出張精算書」を作成し、原則として 7 日以内 1 ヶ月以内に旅費の精算をしなければならない。

附則：この規程は2021年3月6日一部改訂、2021年3月6日から施行する。

第5号議案 強化部提案 (宮崎常務理事)

①2024年パリオリンピック代表選手選考基準の考え方について 承認

公平性を鑑み、現時点での選考基準の考え方を提案し、承認後は本協会webサイトで公表を行う。

選考基準の正式発表日は、国際オリンピック委員会及び国際卓球連盟の「2024年パリオリンピック開催要項」発表後(2022年度に発表される見込み)であるが、選考対象期間はスタートさせる。今後のWTT大会参加資格の見直しやITTFによるランキング制度の見直しによっては変更があり得る。

②NT監督推薦プロジェクト会議組成について 承認

プロジェクトメンバーは、会長、専務理事、強化本部長に自薦、他薦を問わずに申し出し、申し出が無い場合は会長、専務理事と相談して6月の第1回理事会で決定する。

1.NT監督推薦プロジェクト会議の組成(強化本部規程第15条)

2.NT監督決定までの手順

3.NT監督に求められる事項

第6号議案 ルール・審判部提案 (養島常務理事)

①公認審判員表彰について 承認

表彰状を授与しこれを表彰する。[基本規程 第109条3)項]

・大谷 純子 氏(島根県)	・田中 孝一 氏(埼玉県)	・長島 貞博 氏(埼玉県)
・大内 俊恵 氏(埼玉県)	・新田 耕造 氏(兵庫県)	・滝 明子 氏(兵庫県)
・安藤 美江 氏(東京都)	・飯塚ひろみ 氏(東京都)	・佐藤 健一 氏(東京都)
・佐野 守 氏(東京都)	・中村 喜和 氏(東京都)	・芳賀 文治 氏(東京都)
・古屋 義人 氏(東京都)	・八峠 正規 氏(東京都)	・山崎 誉男 氏(東京都)

◎報告事項

1. 専務理事報告 (星野専務理事)

①全日本選手権大会(一般・ジュニアの部)報告

本大会はコロナ禍でどのようにしたら開催できるかを検討し、ダブルス3種目を取りやめ、三密を避ける・手指消毒をする・互いの感染状況を防ぐことに腐心し、主管地のNP0法人大阪卓球協会と連絡を取りつつ準備を行い、特に大きな事故無く終了することができた。ダブルスを実施しなかったことが大きかったと思うが、来年1月の開催に向け状況を見ながら6ヶ月前プロジェクトで検討をしていきたい。

②アクションプラン進捗状況について

3-1 草の根レベルでの環境整備(宮崎常務理事)

3-3 象徴的な場「聖地」の創出(宮崎常務理事)

4-1 デジタルの最大活用(星野専務理事)

4-2 スポンサーシップおよび放映権/配信権の最大化(星野専務理事)

その他 90周年記念事業(加藤常務理事)

③Tリーグ関連について

④日本スポーツ振興センターガバナンスモニタリングについて

オンラインアンケートの依頼があり、理事、監事、事務局員にアンケートを実施する。結果はNFにフィードバックされる。

2. 事業部報告 (金崎常務理事)

①全日本ホカバ・カデット特別推薦枠について

(1)2021年全日本卓球選手権大会(ホープス・カデットの部)は、特別推薦枠を除外する。2021年全日本卓球選手権大会(カデットの部)も、特別推薦枠の除外についてプロジェクトチームで検討後理事会に付議する。

(2)今後の特別推薦枠は、ホープス委員会・中学生普及委員会・強化部及び事業部の代表者で検討する。2021年11月末までに結論を出し理事会に付議したい。

3. 強化部報告 (宮崎常務理事)

①FISUワールドユニバーシティゲームズ代表候補選手選について(卓球競技：2021/8/21～27)

男子 及川 瑞基 選手(木下グループ)	女子 森田 彩音 選手(デンソー)
田中 佑汰 選手(愛知工業大学)	木村 香純 選手(専修大学)
龍崎 東寅 選手(明治大学)	松岡 優香 選手(東京富士大学)
曾根 翔 選手(愛工大名電高校)	笹尾明日香 選手(早稲田大学)
戸上 隼輔 選手(明治大学)	山本 笙子 選手(中央大学)

4. 国際部報告 (前原副会長)

①国際部報告

1. 第 30 回東アジアホープス大会 日本代表選考会について
2021 年 1 月 29 日(金)～31 日(日) 福岡県 北九州市・北九州市立総合体育館
男女各 10 名の日本代表選手が決定した。本大会：同会場で 2021 年 12 月 3 日(金)～
 2. ワールドマスターズゲームズ (WMG) 2021 関西
延期日程が 2022 年 5 月 13 日(金)～29 日(日)の開催で決定した。
 3. 国際大会の再開について
WTT コンテンダー 2 月 28 日～3 月 6 日 カタール・ドーハ
WTT スターコンテンダー 3 月 6 日～13 日 カタール・ドーハ
複数大会(調整中) 調整中 中国・杭州市(予定)
WTT の立て付けやワールドランキングについて、欧州からも意見書が出されているため、今後 ITTF で検討をしていくものと考えられる。
 4. 2020 世界選手権釜山大会について
大会実行委員会から大会中止の申入を 2020 年 12 月 21 日に開催の ITTF EC において承認した。2021 年 6 月開催予定のアメリカ・ヒューストン大会(個人戦)についても現在調整中である。
- 5. 事務局より (事務局長)**
- ①今後の会議等予定
 - ②その他
(1)内閣府の立ち入り検査について 2014 年 4 月 14 日(水)10 時～16 時(予定)
- 6. その他**
- ①大会要項の西暦・和暦表記について (梶下理事)
星野専務理事より、元号については、本協会理事会で和暦表示は西暦表示とすることが承認されており、天皇杯・皇后杯についてスポーツ庁からは指摘を受けていないとの回答があった。
 - ②日本卓球ハンドブックのスリム化についての要望 (梶下理事)
星野専務理事より、段位取得者についてはオリンピック年度に都道府県卓球協会／連盟に一覧を送付し物故者調査依頼を行い、その結果を掲載している。ハンドブックのスリム化については今後検討させていただきたいとの回答があった。

以上